

## 第86回紫紺倶楽部

# 歌舞伎と大衆芸能

江戸時代から現在に至るまで、歌舞伎は広い層に愛されてきました。その時代時代に人気俳優が登場し、古典芸能の中でも際立って有力な演劇であり続けています。

今年、新装なった歌舞伎座の舞台に、(十八代)中村勘三郎、(十二代)市川團十郎の姿が見られないのは寂しいですね。しかし、次代を担う若手俳優たちが打ち込んでいる姿は、伝統の力を感じることが出来ます。

今回の紫紺倶楽部は、400年の伝統ある演劇・歌舞伎が、どんな形で他の芸能や演劇に影響を及ぼし、反対に影響を受けてきたかがテーマです。

ゲストは、明治大学名誉教授で日本経営史の権威、由井常彦先生です。今回で14回目のご出演。昨年は「歌舞伎 今と昔 ～俳優と演出～」というテーマでお話いただきました。今回は、落語や映画などの大衆芸能との関わり、というとても面白いお話を伺います。

### ゲストのプロフィール

敬称略

由井 常彦 (ゆい・つねひこ)

1931年長野県生まれ。1955年東京大学経済学部卒業。1960年同大学院修了。経済学博士。明治大学経営学部教授を経て、現在、名誉教授。日本経営史の大家である。財団法人三井文庫常務理事・文庫長。

東大在学中、学生歌舞伎連盟のリーダーの一人。連盟の三越劇場公演に数年間出演する。明治大学教授時代は、20年間にわたり同学歌舞伎研究会の会長をつとめ、現在、顧問。歌舞伎鑑賞歴は60年を超えている。

会場	明治大学 (駿河台キャンパス) リバティタワー3階 1031教室
日時	9月16日 (月・祝) 13時30分開場 14時00分開演
ゲスト	由井 常彦 (明治大学名誉教授)
入場料	2,000円 (税込)
主催	オリオンプロモーション
協賛	カゴメ株式会社

紫紺倶楽部事務局  
嶋 丈太郎

お問い合わせは

携帯090-1702-5076

メール [shimajyo.oriopro@nifty.com](mailto:shimajyo.oriopro@nifty.com)

まで